



TOTOギャラリー・間 北九州巡回展

「中山英之展 , and then」

TOTO GALLERY・MA Traveling Exhibition in Kitakyushu
Hideyuki Nakayama: , and then

TOTOギャラリー・間は、2019年に開催し、反響の大きかった建築家・中山英之氏の展覧会を、北九州巡回展「中山英之展 , and then」として、TOTOミュージアム(福岡県北九州市)にて、2020年12月1日(火)～2021年3月7日(日)の会期で開催します。

展覧会

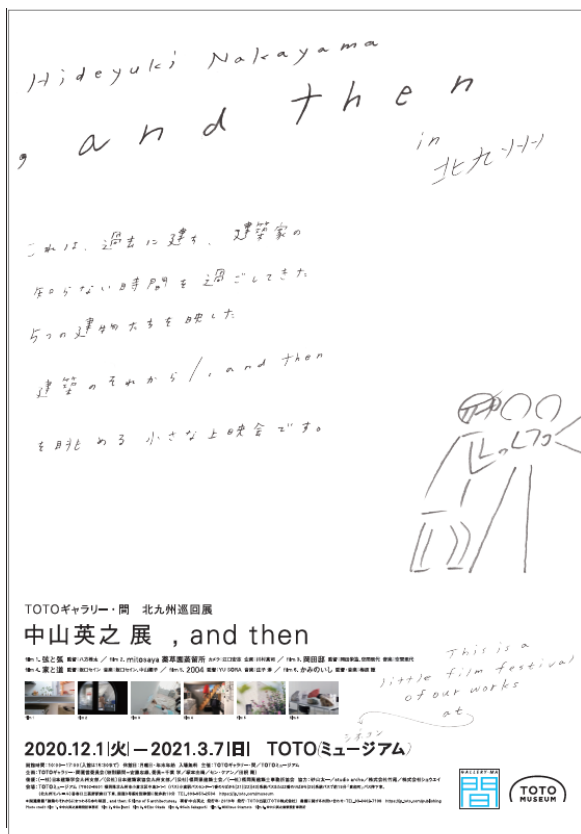
会期＝2020年12月1日(火)～2021年3月7日(日)

会場＝TOTOミュージアム
(〒802-8601 福岡県北九州市小倉北区中島 2-1-1)

休館日＝月曜日・年末年始

開館時間＝10:00～17:00(入館は16:30まで) 入場無料

TOTOミュージアムホームページ
(<https://jp.toto.com/museum>)



新型コロナウイルスの感染拡大を受け、TOTOミュージアムにおきまして、お客様および当社従業員の健康と安全を第一に配慮し、TOTOミュージアム内での混雑と濃厚接触の回避を目的とした防止策を実施しております。詳細は、TOTOミュージアムホームページ(<https://jp.toto.com/museum>)をご参照ください。

展覧会概要

TOTOギャラリー・間は、TOTOミュージアム(福岡県北九州市)での巡回展として、建築家・中山英之氏の展覧会「, and then」を開催いたします。

独自の繊細な作風で注目を集めている、中山氏の建築の魅力がどこから生まれてくるのか、建築模型や図面では伝えきれない研ぎ澄まされた感覚や思考、さらに作品がもつ魅力や質、完成後の時間の流れを映像で表現します。

本展覧会では会場全体が小さなシネマコンプレックス(シネコン)となり、中山氏ではない6人の監督が展覧会のために撮影した短編映画6作品を上映します。ロビーに見立てたそれぞれの「島」には、映画のメイキングや、撮影された建築を紹介するためのドローイング、模型なども置かれる予定です。

建築は完成後、住まい手によってどのように使われ、どのような日常が繰り広げられているのか。中山氏は、建築家自身も知ることのできない「建築のそれから、, and then」が重要だと考えています。室内だけでなく、取り巻く周囲の環境も含めて、どのような時間が流れているのかを、これらの短編映画を通じて紹介します。

客観的な視点で自身の建築と向きあうユニークな視点に裏打ちされた、中山氏の「思想」と「実験」を提示します。

TOTOギャラリー・間

展覧会詳細

展覧会名(日):TOTOギャラリー・間 北九州巡回展

中山英之展 , and then

展覧会名(英):TOTO GALLERY・MA Traveling Exhibition in Kitakyushu

Hideyuki Nakayama: , and then

会期:2020年12月1日(火)~2021年3月7日(日)

開館時間:10:00~17:00(入館は16:30まで)

休館日:月曜日・年末年始

入場料:無料

会場:TOTOミュージアム 〒802-8601 福岡県北九州市小倉北区中島 2-1-1

TEL:093-951-2534 <https://jp.toto.com/museum>

【バス】小倉駅バスセンター1番のりばから[21][22][43]系統バスまたは2番のりばから[25]系統バスで約15分「貴船町」バス停下車

【北九州モノレール】香春口三萩野駅南口下車、国道3号線を到津側に徒歩約10分

主催:TOTOギャラリー・間/TOTOミュージアム

企画:TOTOギャラリー・間運営委員会

(特別顧問=安藤忠雄、委員=千葉 学/塚本由晴/セン・クアン/田根 剛)

後援:(一社)日本建築学会九州支部/(公社)日本建築家協会九州支部/(公社)福岡県建築士会/

(一社)福岡県建築士事務所協会

協力:砂山太一/studio arche/株式会社竹尾/株式会社ショウエイ

展覧会コンセプト

, and then

この展覧会は、いくつかの映像からなります。

過去に建ち、僕たち設計者の知らない時間を過ごしてきた建物たちを映したものが主です。
だからこれは、建築の展覧会というよりも
建築のそれから、and then を眺める上映会、と言ったほうが正しいかもしれません。

「それから」の時間に建築家は関わるできないように、
それぞれの映像も別人によって撮られ、編集されたものです。
だからこれは、ばらばらなイメージの並んだ小さな映画祭のような展覧会、
と言うこともできるかもしれません。

もちろん映っている建築についてなら僕たちも、
カーテンの開閉機構の仕組みから影響を受けた映画監督の言葉まで、
全てを知っています。
ミュージアムがこの期間だけ小さなシネコンになるのなら、
それらが展示されたロビーたちも忘れずに用意したいと思います。

もうひとつ。

映像には始まりと終わりがあるので、好きなときに行き、
自分のペースで会場を回れる展覧会とは、
ちょっぴり相性が良くないかもしれません。
そんな意味でも展覧会には、
できれば映画館に出かけるような気分で来てもらえたら嬉しいです。

中山英之

建築家プロフィール

中山英之(なかやま ひでゆき)

1972 年福岡県生まれ。

2000 年東京藝術大学大学院修士課程修了。伊東豊雄建築設計事務所勤務を経て、2007 年に中山英之建築設計事務所を設立。2014 年より東京藝術大学准教授。SD Review 2004 鹿島賞(2004)、第 23 回吉岡賞(2007)、グッドデザイン賞 金賞(2019)、JIA 新人賞 2019(2019)など受賞多数。

主な作品に「2004」(長野県、2006)、「O 邸」(京都府、2009)、「石の島の石」(香川県、2016)、「弦と弧」(東京都、2017)、「mitosaya 薬草園蒸留所」(千葉県、2018)など。

主な著書に『中山英之／スケッチング』(新宿書房、2010)、『中山英之 | 1/100000000』(LIXIL 出版、2018)、『建築のそれからにまつわる 5 本の映画 , and then: 5 films of 5 architectures』(TOTO出版、2019)など。



©takashi kato

関連書籍

書名 『建築のそれからにまつわる5本の映画 , and then: 5 films of 5 architectures』

著者: 中山英之

定価: 本体 3,300 円 + 税

発行: 2019 年 5 月

体裁: B5 判 (182 × 257mm)、並製、170 頁、和英併記

発行所: TOTO出版 (TOTO株式会社)

書籍紹介: <https://jp.toto.com/publishing/detail/A0381.htm>

お問い合わせ: TEL: 03-3402-7138 <https://jp.toto.com/publishing>



広報用図版(映像作品) 1/2



©中山英之建築設計事務所

film 1. 弦と弧 (2017 年竣工)

監督 八方椎太 音楽 門田和峻

2 階建ての大きさに、かたちのバラバラな 10 層の平面が重なった住居兼仕事場。上下するカメラが、その場所での朝から晩までを記録します。

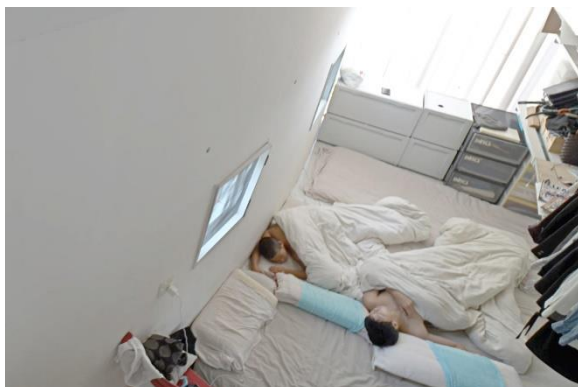


© Go Itami

film 2. mitosaya 薬草園蒸留所 (2018 年竣工)

カメラ 江口宏志 企画 川村真司

人が来なくなってしまった薬草園を、果物と薬草を使った蒸留所に生まれ変わらせる計画。動き始めたばかりのお酒造りを 1 人称カメラが見つめます。



©Eizo Okada

film 3. 岡田邸 (2009 年竣工)

監督 岡田栄造、空間現代 音楽 空間現代

街かどに吊るされた高さ 7.5 メートルのカーテン。その奥に続く、どこかで見たホテルの廊下のような空間。そこにある生活の断片が、静止画のように切り取られます。



©Sein Sakaguchi

film 4. 家と道 (2013 年竣工)

監督 坂口セイン 音楽 坂口セイン、中山順子

道を挟んで並んだ、素材は違うけれどまったく同じかたちをした 2 軒の家。実はそれらは道の下で繋がっていて……。家と道のあいだで撮られた、ほんの短いある日の出来事。



©Mitsuo Okamoto

film 5. 2004(2006年竣工)

監督 YU SORA アニメーション YU SORA

写真 岡本充男 音楽 庄子 涉

住宅街に取り残されたクローバーの生えた地面と、その上に50センチだけ持ち上げられた白い木箱のような家。アニメーションとスライドショーによる短編。



©中山英之建築設計事務所

film 6. かみのいし(2019年)

監督 梅原 徹、砂山太一 音楽 梅原 徹

「部屋に置くための石」のできるまで。

TOTOの建築文化活動

TOTOは、建築の専門ギャラリー「TOTOギャラリー・間(ま)」と建築系書籍の出版をおこなう「TOTO出版」を運営しています。

これらは、建築文化の醸成・育成を通して社会に貢献することを目的として創設され、30余年にわたり活動しています。

「TOTOギャラリー・間」と「TOTO出版」の活動目的は、建築家があつ多様な価値観を空間で表現する「展覧会」、自身の言葉で伝える「講演会」、そしてかれらの理論と思想を伝える「出版」によって、建築家のメッセージとして発信することです。



TOTOミュージアム

TOTOは、2017年に創立100周年を迎え、記念事業として2015年に創立の地である北九州の小倉に「TOTOミュージアム」を設立しました。TOTOミュージアムでは、TOTOが大切にしている歴代社長のこころざしとその想いを受け継ぎ、水まわり文化と社会の発展に寄与すべく創造し続けてきた数々の商品をご紹介します。今後もお越しいただくお客様、地域の方々、およびお取引先様との接点の場として、また創立の地「小倉」から世界へTOTOブランドを発信するランドマークとして魅力ある施設を目指します。



TOTOグローバル環境ビジョン

水と地球の、あしたのために。

私たちTOTOグループは、水まわりから環境に貢献するために、「グローバル環境ビジョン」を掲げ、節水や省エネなどさまざまな取り組みを続けています。環境にやさしいものづくりを行い、きれいで快適な暮らしを世界に届け、人とのつながりを大切に活動してまいります。水と地球の、あしたのために。これからも、持続可能な社会を目指して、TOTOグループ全員の力で、実現していきます。

[URL] <https://jp.toto.com/company/csr/vision/index.htm>

